

5 北部地域

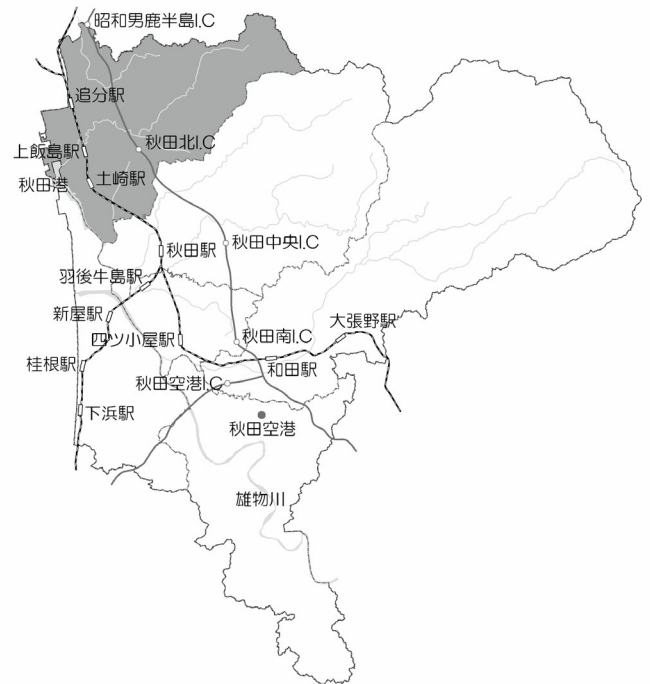
(1) 地域の概要

① 概況

北部地域は、西側に秋田港や鉄道駅を中心とした市街地が形成されており、東側には田園や丘陵地などの豊かな自然環境が広がっています。

本地域の地域中心である土崎地区は、古くから港町として栄え、街道沿いに市街地が形成されてきました。本町通り・中央通りには商業地が形成され、国道7号沿道にも沿道型サービス施設の立地が見られます。

また、秋田港を中心として工業団地が整備されているほか、史跡秋田城跡や県立小泉潟公園、大滝山自然公園などの歴史・文化資源や郊外に広がる自然環境など、多様な特性を有しています。

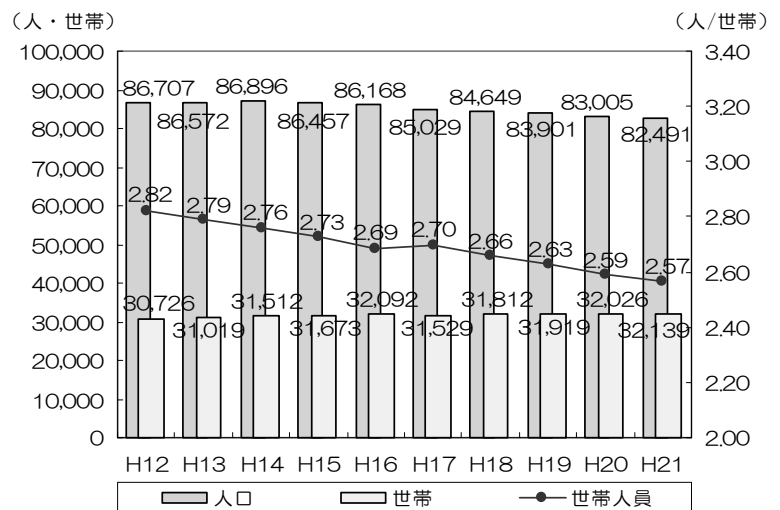


② 人口・世帯数の推移

北部地域の平成21年10月1日時点の人口は82,491人となっており、平成12年からの10年間で約4.9%（4,216人）減少しています。

一方、人口減少が進む中で世帯数は平成21年で32,139世帯と10年間で約4.6%（1,413世帯）増加しており、1世帯当たりの人員も2.82人/世帯から2.57人/世帯に減少するなど、核家族化や単身世帯の増加が進んでいます。

地域内の年齢別人口構成比（平成17年国勢調査より）をみると、年少人口（15歳未満）が12.3%、生産年齢人口（15～64歳）が63.3%、老年人口（65歳以上）が24.4%と、7地域の中で3番目、旧秋田市内では最も老年人口の割合が高い地域となっています。



※住民基本台帳（各年10月1日時点）より。H12,17は国勢調査結果

③ 土地利用の状況・課題

北部地域の面積は約 13,860ha で、そのうちの 7 割（約 10,050ha）が秋田都市計画区域（線引き都市計画区域）に指定されています。

地域の西側に広がる市街地には用途地域（約 2,430ha）が指定されており、東側の田園・丘陵地帯には、農業地域の農用地区域（約 2,340ha）や森林地域の国有林（約 2,420ha）、地域森林計画対象民有林（約 4,860ha）が指定されています。

また、良好な都市景観を保全すべき地域として、金足風致地区、浜ナシ山風致地区、清水風致地区、焼山風致地区が指定されており、海岸部には保安林（約 750ha）が指定されています。

【商業・業務地】

土崎地区の本町通り・中央通りの既存商店街や沿道型サービス施設が立地する国道 7 号、都市計画道路新屋土崎線(新国道)の沿道地域は、本地域における商業・業務拠点としての役割を担っています。

しかし、近年では住民の身近な買い物の場となる既存商店街の疲弊が顕在化しており、空き店舗の発生など新たな課題も見られています。

また、周辺住民の交通拠点となる追分駅周辺においても、自動車に頼らない身近な商業機能の整備が求められています。

【住宅地】

本地域の地域中心となる土崎地区周辺では、比較的密度の高い住宅地が形成されていますが、それ以外の地区では低密度の住宅地が広がっています。

また、郊外に点在する既存集落においては、高齢化や人口の流出による地域の活力低下が大きな課題となっています。

人口減少の影響により、各地区で空き家や空室の発生が課題となっており、今後もその傾向が続くと予測されることから、これらの既存ストックを活用した、安定した住環境の形成が求められています。

【工業地】

秋田港に面する土崎・飯島地区の臨海部には、本市の産業と雇用を支える工業団地が整備されています。

今後も、シーアンドレール構想をはじめとする将来的なプロジェクトの実現を見据えながら、産業全体の活性化に向けた環境整備が求められています。

【農地・自然環境】

市街地を囲むように広がる平野部には、まとまった優良農地が確保されており、良好な田園空間が形成されています。今後も貴重な農業生産の場として、適切な保全・管理が望まれます。

また、新城川については、現在河川改修が進められており、今後も計画的な整備促進が求められています。

東側に広がる丘陵地帯は、地域内を流れる河川の源流域となっており、多くの堤を有するなど、豊かな水資源に恵まれています。ただし、一部地域では急傾斜地崩壊危険箇所など防災関連の指定がなされており、今後も安全・安心な地域づくりに向けた対策が求められています。

【その他の拠点・都市機能】

本地域の地域中心となる土崎地区には、北部市民サービスセンター、土崎図書館などの公共公益機能が集積しています。また、飯島地区には地域の総合病院となる組合総合病院が整備されており、各地区とも地域の行政・医療拠点としての役割を担っています。

観光拠点としては、秋田港には道の駅としての機能も持つポートタワーセリオンが、また豊かな自然環境を活かして県立小泉潟公園や大滝山自然公園、高清水公園など多くの大規模公園が整備されており、交流人口の拡大と地域の活性化に向けた活用が求められています。

また、下新城地区には秋田県立大学が立地しており、大学と地域の連携による活力創出が期待されます。

④ 交通施設の整備状況・課題

【広域交通】

広域交通を担う道路として、地域内を秋田外環状道路(高速道路)が通過しており、上新城地区に秋田北インターチェンジが、潟上市との境界付近に昭和男鹿半島インターチェンジが整備されています。

また、市街地から秋田北インターチェンジに連結する都市計画道路外旭川上新城線が供用されており、高速道路へのアクセス性の向上が図られています。

【地域間・地域内交通】

広域的に通過する交通を市街地から排除するための外周部環状道路のうち、秋田港から国道7号までの道路が整備されています。また、都心の通過交通を排除するための市街地環状道路として、中央地域を中心とする本市の市街地周辺に都市計画道路横山金足線などが整備されています。各路線の未整備区間については計画的な整備が望まれます。

外周部環状道路に連絡し連続性のある幹線道路網を形成する放射道路としては、国道7号や都市計画道路横山金足線、県道秋田天王線が整備されています。また、本市の環状道路網を相互に連絡する分散導入路としても、国道7号、都市計画道路新屋土崎線、横山金足線などが位置づけられています。

【公共交通】

本地域には、JR 奥羽本線の土崎駅、上飯島駅、追分駅が整備されています。また、幹線道路を中心として、バス路線も複数整備されるなど、他の地域と比べ公共交通の利便性が高い地域となっています。

しかし、鉄道駅とバス交通の連絡性やバス路線網から外れた地域での公共交通手段の欠如など、多くの課題も有していることから、公共交通の更なる利便性向上に向けた対応が求められています。

【海上交通】

秋田港においてフェリー一定期便が開設されており、北海道や日本海沿岸都市との結びつきが強化されています。

今後は、港を活かした産業の活性化に向けて、貨物船の大型化に対応した航路泊地の維持・管理や船舶の安定運航の確保に向けた港内環境の整備、港湾周辺の交通渋滞緩和や高速道路へのアクセス性向上に向けた道路整備などが求められています。

⑤ その他の状況・課題

【景観形成】

本地域は、秋田港と工業地が調和した港湾景観や海岸部の保安林による海岸景観、市街地の東側に広がる田園や丘陵地、河川によって形成される水と緑の景観など、多様な資源を活かした良好な景観が広がっています。

また、土崎駅周辺では、電線類の地中化による港町としての趣きを活かした街なか景観づくりが進められており、今後も豊かな自然環境の保全・管理による自然景観の維持を図るとともに、地域の伝統・文化を活かした独自の景観づくりが期待されます。

【その他の都市施設】

本地域には、市民サービスセンター、各地区のコミュニティセンターなどの公共公益施設が整備されています。これらの公共公益施設については、敷地内緑化の推進やクリーンエネルギーの導入・活用など、地球温暖化抑制に向けた取組や安全安心な地域づくりに向けた施設の耐震化や防災機能の付加・充実などが求められています。

また、一部の地区では雨天時における浸水被害が発生していることから、被害防止に向けた排水処理対策が求められています。

(2) 目指すべき地域の姿

港町を中心とした 世界につながる歴史とロマンのまち

- 産業振興と地域の活力向上に向けた 秋田港を活かしたまちづくり
- 多様な地域資源を活用した 地域独自の魅力あふれるまちづくり
- 公共交通網を活かした 生活利便性の高いまちづくり

本地域は、北東北の海の玄関口となる秋田港や本市の産業を支える工業地帯を有した地域です。今後も良好な操業環境を維持しながら、港町としての特性を活かしたまちづくりを進め、産業の活性化と地域活力の創出に向けた港湾環境の一体的な整備を目指します。

また、秋田港のみならず、海岸部の松林や市街地の東側に広がる田園・丘陵地などの自然的資源、史跡や公園、大学をはじめとする歴史・文化資源など、本地域が有する多様な地域資源の保全・活用・連携を図りながら、魅力ある交流型のまちづくりを推進し、地域の活性化を目指します。

本地域の恵まれた公共交通環境を活かし、鉄道やバス交通の連携強化による交通利便性の更なる向上を図るとともに、公共交通軸沿線における生活利便性の高い沿道型居住地の形成を目指します。

(3) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

【地域中心における都市機能の充実】

- 交通結節機能を有する土崎駅を中心として、地域住民の生活を支える商業機能や行政・文化機能が集積している土崎地区を、北部地域の地域中心として位置づけます。
- 土崎地区においては、地域中心として人が集うにぎわいのあるまちを目指します。地域住民の快適な生活を支える商業、行政、工業などの既存機能の維持と更なる充実に向けて、多様な主体の連携を図りながら関連施設が進出・集積しやすい環境づくりを促進します。
- 土崎駅周辺においては、自動車移動に頼らない身近な買い物の場を確保するため、特別用途地区をはじめとする都市計画制度等の導入による、沿道型サービス施設の適切な立地誘導について検討するとともに、街なかの商店街と幹線道路沿道に立地するサービス施設との役割分担を明確にし、両者が共存した地域商業の活性化を促進します。

- 北部市民サービスセンターを拠点に、地域における市民協働・都市内地域分権を推進するとともに、地域内の交流強化、市民や来訪者への地域情報の発信拠点としての活用等を進めます。
- 地域北側の拠点となる追分駅周辺においても、近隣に県立小泉潟公園と県立大学が立地するポテンシャルを活かし、学生や来訪者が集うような商業系施設など、にぎわいの創出に資する施設が進出しやすい環境づくりを促進します。

【沿道型居住市街地の形成】

- 路線バスや鉄道により都心部や地域中心への移動が容易で、なおかつ周辺住民が利用できる日常的な買い物環境や医療・福祉機能が一定程度整備されている幹線道路沿道地域については、ロードサイド型の商業拠点としてだけでなく、既存施設を活かした生活利便性の高い居住地としての土地利用を促進し、公共交通軸を中心とした集約型の沿道型居住市街地の形成を目指します。
- 沿道型居住市街地の形成に向けて、幹線道路沿道に立地している施設の用途や集積状況を踏まえながら、ふさわしいエリアの見極めを進めるとともに、特別用途地区をはじめとする都市計画制度等の導入など、沿道周辺の居住環境への影響に配慮した土地利用誘導方策について検討します。

【産業振興と地域の活性化に向けた秋田港の活用】

- 本市の産業を支える臨海部の工業地帯については、引き続き良好な操業環境の維持を図るとともに、シーアンドレール構想の促進による産業機能の増進と産業の活性化に向けて、秋田港の環境整備に取り組みます。
- コンテナ貨物やフェリー貨物の安全で安定した輸送の確保と地域の産業振興に資する物流の効率化に向けて、船舶の安定運航の確保に必要な施設整備を促進します。
- 秋田港については、海の玄関口にふさわしい魅力ある港づくりを目指し、松林など周囲の良好な自然資源との調和を図るとともに、セリオンをはじめとする既存拠点を活用しながら、海辺に親しめるにぎわいのある港湾環境の整備を促進します。

【空き家・空き地の有効活用】

- 高齢化や人口減少などの影響によって、市街地内で増加しつつある空き家や空き地については、所有者の協力を得ながら、農産物の直売所や地域コミュニティの交流の場、駐車場、除雪スペース等として有効活用するための手法について検討します。

【自然環境の保全・管理】

- 本地域の東側に広がる丘陵地帯については、都市生活にうるおいを与える貴重な資源として、市民や企業、行政など多様な主体の連携・協働によって、森林環境の保全・管理を図ります。

- 県立小泉潟公園をはじめとする大規模公園などの観光拠点については、周辺環境との調和に配慮しながら、その機能の維持・充実を図ります。また、各拠点を有機的に結びつけることにより、交流人口の確保を目指します。
- 地域内に流れる草生津川や新城川においては、多様な主体の協働に基づく積極的な美化活動などによる水質の保全や河川環境の保全活動を促進します。

【田園環境の保全・管理】

- 市街地の縁辺部に広がる田園地帯については、無秩序な開発の抑制により良好な営農環境の維持・保全を図るとともに、農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修により農業生産環境の向上を促進し、優良農地の保全を目指します。
- 農業従事者の高齢化や後継者不足などを背景として、増加傾向にある耕作放棄地については、農地情報の適切な管理と農地利用を推進し、耕作放棄地の発生抑制を目指します。

【郊外既存集落の維持・活性化】

- 高齢化や人口流出によって、衰退が懸念される郊外の既存集落については、コミュニティの維持・活性化を図るため、他都市からの住み替えやU・J・Iターンなどの新たな人口流入の促進に寄与する都市計画制度等の導入を検討します。
- 都市計画制度等の導入により、集落で発生している空き家や耕作放棄地については、地域活力の創出に向けて、農家民宿や体験農園などとしての利活用を促進し、都市と農村の交流拠点としての再生を目指します。

② 交通体系の整備方針

【幹線道路の整備促進】

- 市街地から秋田北インターチェンジに連結する都市計画道路外旭川上新城線の適切な管理を図り、高速道路へのアクセス性を維持します。
- 地域内を通る外周部環状道路や市街地環状道路などの環状道路については、関係機関との調整を図りながら、未整備区間の計画的な整備を促進します。
- 外周部環状道路に連絡する放射道路や環状道路網を相互に連絡する分散導入路については、その機能の維持・向上に向けた適切な管理を促進します。

【持続可能な公共交通の確保】

- 地域住民の日常の交通拠点となる土崎駅や追分駅など鉄道駅については、バス交通との連携強化など交通結節機能の充実を図るとともに、駅周辺での駐輪場などの利活用を図り、ライドアンドライドなど低炭素型の地域内移動を促進します。

- マイタウン・バスの活用など、地域内移動の円滑化に向けたバス路線の再編・充実を促進します。
- 都市計画道路泉外旭川線による交通環境の変化を見極め、JR との連携を図りながら、泉・外旭川地区における新駅の方向性を検討します。

【秋田港の活用に向けた環境整備】

- シーアンドレール構想の促進による産業機能の増進を見据え、秋田港と周辺道路網との連携強化を図ります。
- 港湾周辺における交通渋滞の緩和や港湾荷役の効率化に向けて、都市計画道路大浜上新城線の計画的な整備を推進し、秋田港と高速道路間のアクセス性の向上を目指します。

【安全で快適な生活道路の整備】

- 住宅が密集した地域や狭隘道路が残されている地域、小中学校などの通学路については、住民の協力を得ながら地区計画等のまちづくりのルールを導入し、災害時などに緊急車両が円滑に通行できる道路幅員の確保や、子どもから高齢者まで、誰もが安全に通行できる歩行者環境の改善を目指します。

③ その他の方針

【観光型まちづくりの促進】

- 河川や緑地など、本地域の豊かな自然環境を活かしながら、史跡秋田城跡や県立小泉潟公園をはじめとする地域の名所を巡る回遊ルートを設定し、各拠点が有機的に結ばれた水と緑のネットワークを形成します。
- 市民や行政、商工会などの多様な主体の連携・協働により、地域資源を紹介する案内板の設置やサインの整備、パンフレットの作成など、交流人口の拡大に向けた取組を促進します。
- 北部市民サービスセンターやセリオンなどの既存施設を活用しながら、^{ひきやま}曳山など、地域独自の祭やイベントなどを広く PR する情報発信拠点づくりを促進するとともに、新たなイベントの創設など、ソフト面での魅力づくりに取り組みます。

【広域公園の活用】

- 県立小泉潟公園については、追分駅や都市計画道路横山金足線など近隣の広域交通網を活かしたアクセス性の向上を図りながら、潟などの特色ある自然環境や県立博物館などの文化拠点を活かした魅力あふれる広域公園として、積極的な PR 展開と利活用を促進します。
- 大滝山自然公園については、都心部からのアクセス性の向上を図りながら、市民や来訪者が自然と親しめる公園として積極的な PR 展開と利活用を推進します。

- 高清水公園については、多様な生き物が生息する特色を活かし、市民が身近に生物と親しめる公園として、イベントなどのソフト面の充実を図ります。

【地域資源を活かした魅力ある景観づくり】

- 土崎地区においては、電線類の地中化により古くからの港町としての趣きを活かした景観づくりが進められており、今後も敷地内緑化の推進などによる良好な街なか景観づくりを促進します。
- 草生津川では、桜やコスモスなどの植栽によって、良好な河川景観が形成されています。今後も、市民や行政など多様な主体の連携・協働によって、魅力ある河川景観の維持・保全を図ります。
- 海に沈む夕日や臨海部の工業地帯の夜景など、地域独自の海岸景観を活かし、ビューポイントの整備やPRを促進します。
- 郊外での無秩序な開発行為等の防止により、地域の東側に広がる田園・丘陵地帯の良好な自然景観の保全を図ります。

【安全安心なまちづくり】

- 公共施設をはじめとする既存ストックを活用しながら、緊急時の避難場所など、防災拠点となる施設の適切な配置と機能の充実を図り、安全安心なまちづくりを目指します。
- 台風や大雨などによる浸水被害の防止に向けて、河川改修などを促進します。
- 海岸部や河川については、適正な排水処理による水質の保全を図り、美しい水環境の確保を図ります。
- 少子高齢化を踏まえ、地域内の防犯活動や除雪作業など、地域コミュニティによる自助・協力体制の強化・連携を図り、誰もが安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。

■ 北部地域構想図

【観光型まちづくりの促進】

- 豊かな自然を活かした史跡・公園などの名所を巡る回遊ルートの設定
- 多様な主体の連携・協働による地域内の名所や回遊ルートを紹介する案内板の設置やサインの整備、パンフレットの作成
- 既存施設を活用し、曳山車などの地域独自の祭・イベントなどをPRする情報発信拠点づくり

- 追分駅周辺においては、近隣に県立小泉湧公園と県立大学が立地するポテンシャルを活かし、にぎわいの創出に資する施設が進出しやすい環境づくりを促進

【持続可能な公共交通の確保】

- 鉄道駅のバス交通との連携強化など交通結節機能の充実を図り、駅周辺での駐輪場などの利活用によるライドアンドライドなど低炭素型の地域内移動を促進
- マイタウン・バスの活用など、地域内移動の円滑化に向けたバス交通の再編・充実
- 都市計画道路泉外旭川線による交通環境の変化を見極め、JRとの連携を図りながら、泉・外旭川地区における新駅の方向性を検討

- バス路線をはじめとする公共交通軸沿線における、既存ストックを活かした生活利便性の高い沿道型居住市街地の形成

【空き家・空き地の有効活用】

- 市街地内の空き家や空き地などの低未利用地は、所有者の協力を得ながら、農産物の直売所や地域コミュニティの交流の場、駐車場、除雪スペース等としての有効活用を検討

【地域中心（土崎地区）の都市機能】

- 人が集うにぎわいのあるまちを目指し、商業、工業、行政など既存都市機能の維持・充実に向け、多様な主体の連携により関連施設が進出・集積しやすい環境づくりを促進
- 駅周辺に自動車移動に頼らない身近な買い物の場を確保するため、都市計画制度等の導入を図りながら、街なかの商店街と幹線道路沿道のサービス施設との役割分担を明確にし、両者が共存した地域商業の活性化を促進
- 電線類の地中化や敷地内緑化など、古くからの港町としての趣きを活かした都市景観づくりの促進
- 地域の生活情報を発信する情報拠点づくり

【産業振興と地域の活性化に向けた秋田港の活用】

- シーアンドレール構想の促進による、秋田港における産業機能の増進に向けた環境整備と周辺交通網との連携強化
- コンテナ貨物やフェリー貨物の安全で安定した輸送の確保と地域の産業振興に資する物流の効率化に向け、船舶の安定運航の確保に必要な施設整備を促進
- 港湾周辺の交通渋滞緩和および港湾荷役の効率化に向けた、高速道路からのアクセス性の向上
- 周囲の良好な自然資源との調和を図り、セリオンをはじめとする既存拠点を活用した、海の玄関口にふさわしい、人が集いにぎわう魅力ある港づくりを促進
- 海辺に親しめる空間としての港湾環境の整備

【郊外既存集落の維持・活性化】

- 既存集落の維持・活性化に向けて、都心部からの住み替えやU・J・Iターンなどの新たな人口流入の促進に寄与する都市計画制度等の導入を検討
- 空き家・耕作放棄地の利活用による、農家民宿などの都市・農村交流拠点づくり

【自然環境の保全・管理】

- 市民や企業、行政など多様な主体の連携・協働による、豊かな森林環境の保全・管理
- 多様な主体の協働に基づく積極的な美化活動による河川環境の保全と魅力ある河川景観の創出
- 適正な排水処理による水質の保全

【田園環境の保全・管理】

- 無秩序な開発の抑制による良好な営農環境の維持・保全
- 農地情報の適切な管理と農地の積極的な利用にもとづく耕作放棄地の発生抑制
- 農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修による農業生産環境の向上

【地域資源を活かした魅力ある景観づくり】

- 海に沈む夕日や臨海部の工業地帯の夜景など、地域独自の海岸景観を活かし、ビューポイントの整備やPRを促進
- 郊外での無秩序な開発行為等の防止により、田園・丘陵地帯の良好な自然景観を保全

【安全安心なまちづくり】

- 緊急時の避難場所など、防災拠点となる施設の適切な配置と機能の充実
- 浸水被害の防止に向けた河川改修などの促進
- 緊急車両が通行できる安全な道路づくり
- 住宅の密集した地域や通学路における、歩行者環境の改善
- 防犯活動や除雪作業など、地域コミュニティによる自助・協力体制の強化・連携

- 都心部からのアクセス性の向上を図りながら、市民や来訪者が自然と親しめる公園として積極的なPR展開と利活用の促進

- 多様な主体の連携・協働により、桜やコスモスなどが植栽された魅力ある河川景観を維持・保全

- 都心通過交通の排除に向けた、市街地環状道路の未整備区間（都市計画道路外旭川新川線等）の整備

- 多様な生き物が生息する特色を活かし、市民が身近に生物と親しめる公園としてソフト面を充実

